

1 単元名 町のすてき もっとしりたい たんけんたい

2 単元目標

○町で働いている人や住んでいる人の町への思いや、自分たちの生活との関わりに気づくとともに、自分の町の良さに気づくことができる。 (知識及び技能)

○町の様々な場所や人と適切に関わることや、町探検で気づいたことや教えてもらったこと、体験したことについて、自分らしい方法で表現できる。 (思考力・判断力・表現力等)

○自分が生活している町に関心を持ち、町の人々や様々な場所に親しみをもって関わったり、町の人との交流を深めたりしようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

(1)教材について

本教材では、自分の住んでいる町の良さに気づき、愛着をもたせることができる。夏の町探検では、児童が慣れ親しんでいる公園を中心に回り、朱雀の町の良さを考える。公園は放課後に遊んでいる児童が多いので、意見が出やすい。次に、保護者が思う朱雀の町の良さ、地域の方が思う町の良さについてインタビューを行う。児童・保護者・地域の三つの視点で、朱雀の町の良さを捉え、最終的に自分の思う、朱雀の町の良さを最たるものを発表する。様々な意見を通して児童は朱雀の町の良さを広い視野で実感し、自分の住む町を見つめ直すことができる。児童、保護者、地域の方が思う朱雀の町の良さは、例えば以下のような意見が予想される。

- ・児童自らが考える朱雀の町の良さとは、安全に通れる歩道、自分たちの遊び場が豊富であることなど
- ・保護者の方が考える朱雀の町の良さとは、公園がたくさんあること。スーパーやイオンなどの店が近くにあること。自然が多いこと。地域の方が児童を守ってくれること。地域間の交流が豊富であること。駅が近いことなど。
- ・地域の方の考える朱雀の町の良さとは、幼・小・中・高校が一つの地域に併設されていること。自然が多いこと。公園がたくさんあること。地域のイベントが豊富であることなど。

また、児童は地域の方にインタビューすることにより、地域の方がそれぞれ朱雀の町を良くしたいという温かく情熱的な思いを持っておられることを直接感じることができる。

このような活動を通して、児童・保護者・地域の三つの視点で町の良さを捉えることで、主体的に朱雀の良さを捉えられる。多様な考えを尊重し、様々な意見に触れることで児童の思いや気づきがより高められると考える。

(2)児童について

本学級の児童は、放課後に公園でよく遊んでいる。時には異学年とも遊んでいる。自分たちの町では主に公園を活用している姿が見られる。一回目の町探検では、朱雀の町には何があるのかを尋ねた。児童から出た意見としては、「コープがある」「公園がある」「パン屋さんがある」などであった。町の建造物や行ったことがある場所はイメージしやすいようだ。しかしそれ以外の意見は出にくかった。特に公園の花がきれいであることや安全な道が舗装されていることに気づく児童がいる一方で、その景色や環境は当たり前のようにそこにあるものとして捉えている児童が多い。朱雀の町の良さは、人・自然など、他にもたくさんあるが、支えている人がいることに考えを巡らせる児童は少ない。また様々な視点で校区の良さを考えることは難しいようだ。そのため、本単元を通して、たくさんの人が関わっていることや様々な朱雀の町の良さに気づき、自分なりの言葉で町の良さを伝えられるようにしたい。

(3)指導について

本教材では、主に次の4つの活動を行う。一つ目は、夏の町探検。二つ目は保護者へのインタビュー。三つ目は、地域の方へのインタビュー。4つ目はインタビューの紹介である。

夏の町探検では「安全に配慮した道路がある」「車やバイクが通れない道がある」といった安全面に関すること「コープがある」「パン屋さんがある」といった飲食に関すること「ABC公園がある」「街区公園がある」といった公園に関することが児童から出てくると予想される。児童たちがイメージしやすい建物や事柄をたくさん出させたい。そうしたことを踏まえて町探検のルートを決定する。児童は放課後に、自宅近くの公園に集合して遊んでいる。そのために公園が意見として最も出てくることが予想される。そこで、よく遊んでいる公園の良いところをお互いに伝え合わせる「公園自慢」という活動を行い、意欲を高めた後、公園を中心としたルートの探検へと向かう。

次に、保護者や地域の方に朱雀のすてきのインタビューを行う。児童だけでは、気づきにくい考えや視点に気づかせたい。まず、保護者の視点から見た朱雀の町のすてきに触れさせる。公園が多いことや店が豊富にあること、駅が近いなど、児童と異なる考えが出てくると予想される。特に、駅が近い、買い物が便利という考えは児童からは出にくい意見なので取り上げたい。また、地域には自分たちのために活動してくれている人がいることにも気づかせたい。例えば、登下校見守りの方や、地域的な行事が豊富であること、地域の方が学校教育に積極的に関わっておられることである。見えにくいところではあるが、自分たちの生活に地域が関わり繋がっていることに気づいてほしい。夏の町探検で自分たちが考えた内容と比べたり同じところを探したりすることでより深く、幅広い視点で考えさせたい。

インタビューの紹介では、一人ずつ自分のインタビューの内容と気づいたことを紹介し合う。自分では思いつかなかったような意見や違う意見を丁寧に取り上げ、なぜそのように考えたのかを問うようにする。

最後に、これまでの学習のまとめとして、まとめのワークシートに取り掛かる。児童は朱雀の町の良いところは何か、これまでの学習を通して考えたこと、思ったことを記入する。夏の町探検直後では、児童にとって朱雀の町の良いところは、公園が多いこと、という意見が多数を占めると予想される。しかしながら、公園はただ遊べるだけでなく高齢者の憩いの場ともなりうること、地域の方が朱雀の町のために活動して下さっていることなどに気付かせながら、学習を振り返らせたい。その後、一人ずつ発表させる。友達と自分の意見を交流する中で、公園には遊びだけでなく憩いの場や人と人との出会いもあることに気付くことができるだろう。「公園自慢」では、遊びとしてしかとらえられなかった児童が公園の様々な役割に気づくことで朱雀の町の良さをより実感できるだろう。

(4)ESD との関連

・本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

多様性 … 児童・保護者・地域の方など、人によって意見が違い、朱雀の町の良さには様々なものがあるという
こと。

連携性 … 学校行事や地域行事はたくさんの方がそれぞれの立場で力を合わせて取り組んでいること。

・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

多面的・総合的に考える力

保護者へのアンケートや地域の方へのインタビューを通して、朱雀の町の良さには様々なものがある
ということに気づく。

コミュニケーションを行う力

保護者へのアンケートや地域の方へのインタビューなど、意見を聞いたり自分の考えを発信したりする。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

【世代間の公正を意識する】

朱雀の町の良さは、世代によって様々な意見がある。各世代のそれぞれの意見を尊重する。

・達成が期待される SDGs

【目標 11：住み続けられるまちづくりを】

学校行事や地域行事はたくさんの方がそれぞれの立場で力を合わせて取り組んでいること。

4 評価規準

ア 知識・技能	イ 思考力・判断力・表現力等	ウ 主体的に学びに取り組む態度
①保護者へのアンケートや地域の方へのインタビューを通して、町で働いている人や住んでいる人の町への思いや、自分たちの生活との関わりに気づくとともに、自分の町の良さに気付いている。	①夏の町探検や保護者へのアンケート、地域の方へのインタビューを基に、朱雀の町のすてきについて、自分の考えと比べながら紹介することができる。	①各世代が考える朱雀の町のすてきを尊重し、自分の考えや聞き取った意見を意欲的に紹介しようとしている。

5 単元計画（全12時間）

	学習活動	指導上の留意点	評価
第一 次	<p>①朱雀の町にはどんなところがあるのか、知っていることを発表する。</p> <p>②「公園自慢」を行う。</p> <p>③公園を中心としたルートの町探検に出かける。</p> <p>③振り返りを行う。</p>	<p>・朱雀の町の写真を何枚か見せ、意見を出しやすいようにする。</p> <p>・ワークシートに記入させてから発表させる。よく遊んでいる公園のすごいところを伝え合わせる。</p> <p>・全3回、各々3か所ずつ公園をめぐることを伝える。</p> <p>・公園の多さ、店、歩行者用の道などに気づかせる。</p>	ア① (知・技)
第二 次	<p>①保護者へのアンケートを実施する。</p> <p>②保護者へのアンケートの内容を発表し、集計から気づいたことを発表する。</p> <p>③「自治会長」「放課後子ども教室の先生」「安全防災協議会の方」のどの方にインタビューしたいか決める。</p> <p>・質問を考える。 ・インタビューをする。</p>	<p>・保護者の方へは、各々の家庭でワークシートを用いてインタビューさせる。</p> <p>・公園や道がきれい、子どもを守ってくれる地域の人がある、などの良さが出てくると予想される。そこで、朱雀のために活動してくれている地域の方にインタビューをすることを伝える。</p> <p>・3名の方の内、特にインタビューしたい方を一人決めさせる。付箋を用意し、質問することを自由に考えさせておく。</p> <p>・事前に、活動の目的や理由を地域の方と確認しておく。</p>	ア① (知・技) ア① (知・技) ウ① (主体性)
第三 次	<p>①インタビューした内容や感想をワークシートに記入する。</p> <p>②地域の方に行ったインタビュー内容や自分の意見を紹介し合う。</p>	<p>・ワークシートを配布し、記入させてから発表させる。</p> <p>・意見を紹介するだけでなく、なぜそのような意見になったのかを問う。</p>	イ① (思・判・表)
第四 次	<p>①この町のよいところについて、これまでの学習を通して思ったこと、気がついたことを書く。</p> <p>②朱雀のまちのすてきについて、発表する。</p> <p>③単元の学習の振り返りを行う。</p>	<p>・ワークシートに記入させる。</p> <p>・ペアやグループで練習してから発表させる。</p> <p>単元を振り返りやすいように、これまでの活動時の写真を示す。</p>	イ① (思・判・表)